

富秋中学校区等まちづくり検討会議（第13回） 議事概要

1. 日 時：令和2年1月26日（日）15：30～16：00

2. 場所：和泉市 人権文化センター 3階会議室

3. 出席者：委員 15名

4. 議事次第

(1) まちづくり構想（地域案）の提出について

5. 議事概要

■まちづくり構想（地域案）の提出

※以下、特記無き場合委員の発言

○向井会長より、「まちづくり構想（地域案）」が市長に提出された。

○市長より挨拶

- ・長きにわたり「まちづくり構想（地域案）」策定にご尽力いただきありがとうございます。
- ・3期目の公約で、安心して暮らせる観点から、子育て・教育の充実、医療・福祉の充実、防災・防犯の充実を掲げ、さまざまな事業を進めている。

この公約実現にあたっては、ハード事業も相当必要であり、小中一貫校の建設や、和泉市立総合医療センターの建替え、関西トランスウェイスportsスタジアムの建設を行ってきた。防災においては、新たにはつが野地区で中央消防署が4月に完成予定。和泉消防本部も旧市立病院跡地に令和6年に移転・完成予定である。

- ・そして富秋中学校区においては、市営住宅の8割が集積しており、今後10年で建替を進めていく予定であり、それにより新しいまちをつくっていかうと考えている。「まちづくり構想（地域案）」の策定過程においては、市営住宅の建替えや小中学校の適正配置（施設一体型義務教育学校）等について検討いただいた。
- ・民間の力も入れて活性化を進めているが、これからも和泉市が持続的な発展を遂げるためには、阪和線沿線のリニューアルがなにより重要と考えている。和泉府中駅前だけでなく、北信太駅周辺も今後15年で周辺整備を進めていく予定。そして（信太山駅のある）富秋中学校区についても、民間の力も借りて戸建住宅地が配置されるような、これまでと違ったまちのデザインをしていきたい。
- ・まちづくりは、行政だけで一方的に事業を進めるものではない。地域の協力なしにはまちづくりは進まない。そのため、地域の声を生かして、変更もしながら、時代時代に合った、令和にふさわしいまちづくりを進めたいと考えており、これからもご協力をよろしくお願いしたい。

○委員発言

- 2年間にわたり「まちづくり構想（地域案）」づくりに携わり、今回市長提出にいたった。構想を実現していくため、行政の方には力添えをお願いしたい。
- 伯太校区も「まちづくり構想（地域案）」に含めていただいた。伯太 4 丁目は幸小学校区にあたるため、施設一体型義務教育学校（小中一貫校）が富秋中学校に整備された場合、通学距離が遠くなる。地域案にあるような美しい通学路整備をお願いしたい。
- 「まちづくり構想（地域案）」策定に至り、次の新しいステップを迎える。私たち町会長は人間でいうと、末梢にまで血を巡らせて手足の先を温かくさせ、居心地よくさせる毛細血管のような存在だと考えている。まちづくりはまさに抹消に血を巡らせる作業が重要であり、町会長として関わることは意義深い役割だと思っている。引き続き富秋中学校区のまちづくりの方向性がどのように進むのか見極めていきたい。
- 富秋中学校区の小中学校は合わせて 500 人に満たない状態になっており、適正な児童・生徒の配置が出来るとよいと考えている。そうすることで子どもたちも元気な学校生活を送れると思うし、人数がある程度いないと活発な学校運営もなかなか難しいと思う。
また、今後、しっかりと住民が力を合わせて取り組むことも大事である。
- 「まちづくり構想（地域案）」の中では、施設一体型義務教育学校（小中一貫校）が最も影響が大きいと思う。構想づくり全体を通してこの話題が中心課題であった。これからも紆余曲折はあると思うが、まず大きな影響を持つ学校・教育づくりに力を入れて頑張っていきたいと思う。
- 人口を増やすためには子どもたちが多く住むまちにするよう発展させることが重要であり、その大きな要が施設一体型義務教育学校（小中一貫校）だと思う。
「保幼小中一貫教育」は、幼稚園連合会でも市長に提案しているが、施設一体型義務教育学校（小中一貫校）に加えて、地域の保育園・幼稚園も連携していくことで、このまちの発展があると思う。また、保育園・幼稚園に通っている子どもだけでなく、未就園児の家庭にとっても住みやすいまちにならないと、本当の意味でのまちづくりにはならない。色々と地域のために動いていきたいと考えており、専門分野である子育て分野を中心にこれからも引き続きまちづくりに貢献していきたい。
- ひとり親世帯など事情を抱えた人も、等しく住みやすいまちになるとよい。そのあたりも考えていただきたいと思う。
- まちづくり検討会議設置の 1 年前から子ども食堂「てらこやハッピー」をスタートし、3 年続けていく中で、子どもたちも色々と事情を抱えている様子がよくわかる。
- 学校や家庭の力も大事でもちろん頑張っているが、地域の教育力も大事だと感じている。まちづくりを通じて、地域全体で子どもを育てるまちになると良いと考えている。
- 歴史的な経緯などもあり、この地域には市営住宅や公共施設が集積してきた。時代ごとにその時々

背景があるが、地域の声を生かしながら柔軟な形で対応できる、持続可能なまちづくりを進めていきたい。

- 「JR 北信太駅周辺地区まちづくり懇談会」にも参加している。北信太駅から信太山駅に歩いていくと線路沿いで歩道がなかったり、あっても1mくらいでベビーカーだと車道に出ざるをえない場所がある。北信太駅と信太山駅をつなぐ道路の整備も進めていってほしい。
- 町会長という立場で、魅力あるまちづくりへ参加させてもらう機会をいただき、勉強させてもらった。感謝したい。また、「まちづくり構想（地域案）」に20年後のイメージのイラストがあるが、私はあと20年だったら100歳になるが、20年長生きしてどうなるか見届けたいと思った。そう思えるすばらしいイメージだと思う。
- 様々な意見を聞いたことは非常によかった。これから新しいまちづくりを進めていくが、これまで守ってきたこと、積み上げてきたことはしっかりとまちづくりに活かしたい。特にこのまちは人権豊かでやさしいまちはこのまちの特徴である。行政の方にも認識していただき、ともにまちをつくっていききたい。また、地域だけで実現は不可能であり、地域の強みと行政の強みをフル活用して、本当に良いまちをつくっていききたい。
構想が出来て終わりではなく、ここから魂を込める段階に入り、実現に向けて注力していくことになる。引き続き行政の支援をお願いしたい。

○市長

- これから市で行政案を作成し3月末に策定予定であるが、事務局長の話のとおり、ここがゴールではなく、魂を入れるスタート地点に立つところである。令和2～11年度の10年間で市営住宅の建替えがほぼ終わり、その後は市営住宅を除却し、跡地を活かしてどのようにまちづくりを進めていくかの検討に入る。全体で25年程度かかることになると思うが、最初の10年が勝負と考えている。
- 令和2年4月からは和泉創発プランがスタートするが、そのスタートダッシュが大事だと考えている。焦ってはダメだが、事業は最初のダッシュが肝心であり。4月以降も協力・指導をよろしくお願ひしたい。

○閉会の挨拶

- 「まちづくり構想（地域案）」を市長に提出し、これから「まちづくり構想（行政案）」が策定される。今後は和泉市と地域が一体でまちづくりを実現していくことになる。引き続きの協力をよろしくお願ひしたい。（向井会長）